

# 自治連 かぬま 第30号

発行 鹿沼市自治会連合会  
編集 同 広報部  
事務局 市民部協働のまちづくり課内  
(電話 63-2260)

## 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、夢と希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、昨年中は、皆様のご理解とご協力をいただきながら、自治会連合会活動を推進できたことに対しまして、深くお礼を申し上げます。

今年<sup>ひのえうま</sup>は午年ですが、丙午で、丙は「燃え盛る太陽」のような強い輝きや情熱、午は「夏の盛り」のような陽気さや行動力を象徴するとされており、自治会連合会では、活気と前進に満ちて、少しでも市民生活がよくなるよう、前向きな姿勢で活動に取り組んでいきたいと考えております。

また、当会としましては、多くの方々に自治会に加入していただき、地域住民が共に話し合い、交流できる環境作りや、より良い地域づくりのための会議や研修会を実施し、自治会活動の一層の充実や継続に尽力したいと考えております。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして、夢と希望に満ち、安心して暮らせる1年となることをご祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



鹿沼市自治会連合会  
会長 小林 俊明

## あなたはもう取り組んでいる?! 「やさしい日本語」を使ってみませんか

日本の「自治会」の文化は世界的に珍しい取り組みであり、外国人住民からは馴染みがありません。もしかすると、あなたの近くに住んでいる外国人住民が、“ゴミの分別ルールがわからない…”、“わからないことがあるけれど、誰に聞けば良いかわからない…”等の理由で困っているかもしれません。まずは、コミュニケーションの第一歩として、「やさしい日本語」でお互いが歩み寄ってみませんか(^^)

### 共通のポイント【話すとき・書くとき】

- ・熟語や敬語を使いすぎない  
(例) 「用紙にご記入ください」  
⇒ 「紙<sup>かみ</sup>に書<sup>か</sup>いてください」
- ・あいまいな表現は使わない  
(例) 「早<sup>あさ</sup>めに<sup>ふん</sup>」  
⇒ 「朝8時30分までに」
- ・一文を短くする ・図や絵を使う 等



### 「やさしい日本語」がなぜ必要?

#### ・外国人住民にわかりやすい

日本に住んでいる外国人住民に、全ての情報を母語に翻訳して伝えることは難しいですが、簡単な日本語を理解できる人は多くいます。



#### ・日本人にもわかりやすい

多くの人にわかりやすく伝えようとする、相手に配慮したコミュニケーション手段の一つです。

### 【話す】ときのポイント

- ・ゆっくり、はっきり発音する
- ・擬音語、擬態語は使わない
- ・伝わっていないと感じたら、別のことばに言い換える
- ・表情やジェスチャーを使う 等



### 【書く】ときのポイント

- ・文節にスペースを入れる (分かち書き)
- (例) ごみを わける 決まりがあります
- ・漢字やカタカナにふりがなをふる 等



### クイズ「やさしい日本語」に言い換えてみよう!

※正解はありません。ポイントを参考にし、自分なりの伝え方を考えてみましょう。

- (1) 土足禁止 ⇒ ( )
- (2) 雨天中止 ⇒ ( )
- (3) 電車は不通です ⇒ ( )
- (4) 避難してください ⇒ ( )

# 自治会連合会

## 11月11日 中学生との意見交換会(北犬飼中学校)

昨年に引き続き広報部会では中学生との意見交換会を開催しました。今年度は北犬飼中学生徒14名と広報部会員7名、地区協議会から5名の単位自治会長とで意見交換を行いました。

### 「北犬飼地区に移住したい人へのアピールは何をしたら効果的か」

- ・イベントの開催(地域の人と人を結びつける。イベントに興味を持った人が移住しに来るのではないか)
- ・北犬飼地区は宇都宮市に近いので進学先を選ぶことがメリット。
- ・大きな公園を作る。安心して遊べる子供たちの遊び場をもっと作ってほしい。

### 「理想の自治会とは?」

- ・みんなが助け合える自治会、特に災害時には協力して助け合うまちづくり。
- ・自治会活動への理解、地域の人と支えあいへの気持ちをもって自治会活動をすることが大切だと思う。

### 「地域のイベントの参加状況について」

- ・地域のイベントに参加しない中学生が多い。
- ・地域行事の開催を知らないことが多いので、行事等の周知、生徒会への呼びかけにより参加も増えると思う。
- ・ボランティア活動の意識ももてるため、地域への繋がりも強くなるかもしれない。
- ・若年層をイベントに呼び込むには体を動かす内容を盛り込むとよいのではないかと。

アンケート結果からは「理想の自治会に近づけるように、イベントを増やしたり、北犬飼地区の環境を生かした取り組みやアピールをしたほうが良い。」「自治会だけで案を考えず、ほかの中学校などとも引き続き意見交換会をする。」など中学生らしい意見が出ました。



参加した自治会長からもコロナでとん挫したお祭りも再開できたら、生徒会にも声をかけて地域全体で盛り上げることも考えたいと仰っていました。

熱い意見交換がなされ、「時間が足りなかった」、「もっと話したかった」などうれしいコメントもいただきました。



## 表彰者



### 地縁による団体功労者総務大臣表彰

○下久我 小林 俊明 会長

### 栃木県自治会活動功労者表彰

○日吉町 関口 善治 会長

○西茂呂南 備仲 征二 会長

多年にわたり自治会活動に尽力し、その功績が、特に顕著な方に対し、表彰されるものです。

### 栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰

○下田町2丁目 岩本 治美 会長

○中粕尾 須藤 宏 会長

○今宮町 柳田 光彦 前会長

○藤江町 秋澤 久 前会長

○南上野町 善林 栄 前会長

誠にありがとうございます。

自治会に加入しましょう ~住みよいまちづくりにはあなたのチカラが必要です~

# 活動報告



## 7月2日 静岡県御殿場市区長会視察受入れ

御殿場市区長会の視察を受け入れしました。

御殿場市では、加入率の低下、特にアパート・マンション等の移動世帯の加入率が低く、自治会脱退者の増加や役員の高齢化・担い手不足などの課題も抱えているようです。

視察では、鹿沼市自治会連合会の概要、「加入促進に関する三者協定」の成果、取組事例やマニュアル作成などについて説明し、情報交換も活発に行いました。

## 7月16日～17日 役員研修(長野県長野市ほか)

長野市において、株式会社 まちづくり長野が取組んでいる「中心市街地遊休不動産活用事業」について研修しました。

空き店舗の利活用で、リノベーションの相談やワークショップの実施、イベントやかかわら版で外郭団体や地元とコラボするなど「まちづくり再生事業」を行い、ハード整備や開業支援といった「専門家ができる支援」と「地元住民だからこそできる支援」が上手く組み合わされており、成功に繋がっているのだと感じました。



北光コムスク・ねっと事務局長 金子 慎吾

## 8月5日 コミュニティ・スクール、地域包括ケアシステム研修会

理事会にて、勉強会を開催しました。

コミュニティ・スクールの講義では、地域の子もたちや地域の方達が、自分事として学校運営の事を話し合う協議の場の重要性を学び、北光コムスク・ねっとの金子慎吾事務局長より、豊富な事例紹介がありました。

地域包括ケアシステムの講義では、高齢者が住み慣れたまちで自分らしく暮らしていくための地域の助け合いの重要性を学びました。

## 11月5日～6日 会長全体研修(新潟県新潟市ほか)

新潟市小須戸コミュニティ協議会を視察しました。

新潟市は、政令指定都市の中では、自治会加入率が浜松市に次いで全国第2位となっている状況と、小須戸地区でのコミュニティ協議会を中心に、魅力ある住みやすい地域とするため、「町家再生プロジェクト」を推進し、地域のみんなで課題を解決するための事業に取り組んでおり、地域活動の重要性を再認識しました。



## 11月13日 施設見学会(那珂川町ほか)

那珂川町にある那珂川町イノシシ肉加工施設へ視察研修を行いました。

町では、有害獣であるイノシシの対策と、イノシシ肉を使った地域活性化を図るために食肉加工施設を整備し、この施設を軸に地域一丸となって狩猟者の負担軽減と捕獲意欲の向上を図る取り組みを推進しています。

近年、その重要性が高まっている野生鳥獣対策において、このような有効な取り組みを見学することができ、実り多き視察研修となりました。

## 12月5日 防犯・防火診断

住民の防犯・防火に対する意識向上のために地域に見せる活動として、防犯協会・市・消防・消防団の皆さんとともにパトロールを行いました。自治会連合会の班は、市長や警察の皆さんとともに市民情報センター周辺を徒歩で巡回しながら、自転車の施錠、荷物の置き忘れ等を重点的に確認しました。

# 自治会協議会紹介

## 永野地区

人口・・・943人 世帯・・・379世帯  
自治会・・・2単位自治会(下永野・上永野)

### 地区の特徴

鹿沼市の南西部に位置し山々に囲まれた原風景の残る集落です。栃木市とのアクセスも良く、栃木インターから20分程の距離にあります。

平成15年に大越路トンネルが開通し、鹿沼市街地への利便性が向上しました。

トンネルを抜けた永野川沿いにはコミュニティ公園があり、三人制バスケット、テニスコート、ローラー滑り台などが整備された自慢の都市型公園です。

地域の特産品は「大麻」と「蕎麦」で、野州麻は日本一の生産量を誇ります。

手打ちそば店も多く、休日は多くのお客で賑わっています。



▲そば畑

### 協議会等の活動

各種団体と連携し様々な活動に取り組んでいます。安全安心活動としては、防犯パトロールや消防団との連携強化。健康福祉活動で行う輪投げ大会、コミュニティ活動のゴルフ大会やグラウンドゴルフ大会などは大いに盛り上がります。環境美化活動では農道や水路の草刈りを年3回実施しています。



▲グラウンドゴルフ

人口減少や会員の高齢化が急速に進む中、地域の活性化が大きな課題です。時代の変化に対応した自治会活動の在り方、住民の負担を考慮しつつ新規事業の取り組みを模索しているところです。

## 中央地区

人口・・・6,176人 世帯・・・2,553世帯  
自治会・・・17単位自治会(久保町、銀座1丁目、銀座2丁目、今宮町、仲町、麻苧町、石橋町、下材木町、寺町、蓬萊町、三幸町、鳥居跡町、下横町、西鹿沼町、日吉町、花岡町、日吉台団地)

### 地区の特徴

鹿沼市の中心部として、戦国時代に鹿沼城の城下町だった頃から市の発展を支え、中核的な役割を担ってきた歴史ある地域です。近年では、著しい人口減少や高齢世帯の増加などにより、地域活力の低下が危惧されております。そのような中であっても、永い歴史と伝統に育まれた(30ヶ所を超える名所旧跡・豊かな自然)ものと、新しいものが融合した活力のある中央地区となるように努力していきたいと思っております。

### 協議会等の活動

自治会活動の基本理念「地域に根差した活動」を推進しています。

#### 【中央地区安全安心総合対策推進協議会】

- ・見守り活動部会：地域内の問題把握や対策を定例会で議論したり、各町のみまもり担当者などの体験談を周知しています。
- ・中央小学校区活動推進部会：登下校の更なる安全安心の向上に向けて、令和6年度市へ要望書を提出しました。自治会と連携し、引き続き改善活動を続けていきます。
- ・防火活動推進部会：防災減災部会と共催で研修会などを開催し、意識改革に努めています。

#### 【中央地区地域支えあい協議体】

中央地区支えあいボランティア活動は令和7年11月より7年目に入りました。高齢者宅の片付け、草刈りや除草、令和5年3月から始めた送迎が主な支援です。高齢者が安心して住み続けていける地域づくりを目指して活動しています。



▲新鹿沼駅ロータリー



▲草刈りボランティア